

ASUS[®]
IN SEARCH OF INCREDIBLE

LEDプロジェクター e-マニュアル

P3B



HDMI[™]
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

J10455

2015年8月

第1版

著作権および商標について

本書およびそれに付属する製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。購入者によるバックアップ目的の場合を除き、ASUSTeK Computer Inc. (以下、ASUS) の書面による事前の許可なく、本製品および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

以下に該当する場合は、製品保証サービスを受けることができません。

- (1) 製品に対しASUSの書面により認定された以外の修理、改造、改変が行われた場合
- (2) 製品のシリアル番号の確認ができない場合

本書は情報提供のみを目的としています。本書の情報の完全性および正確性については最善の努力が払われていますが、本書の内容は「現状のまま」で提供されるものであり、ASUSは明示または黙示を問わず、本書においていかなる保証も行いません。ASUS、その提携会社、従業員、取締役、役員、代理店、ベンダーまたはサプライヤーは、本製品の使用または使用不能から生じた付随的な損害（データの変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に対して、たとえASUSがその損害の可能性について知らされていた場合も、一切責任を負いません。

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。本書では説明の便宜のためにその会社名、製品名などを記載する場合がありますが、それらの商標権の侵害を行う意思、目的はありません。

Copyright © 2015 ASUSTeK Computer, Inc. All Rights Reserved.

責任制限

この責任制限はASUSの、或は他の責任の不履行により、ユーザーがASUSから損害賠償を受ける権利が生じた場合に発生します。

このようなケースが発生した場合は、ユーザーのASUSに損害賠償を請求する権利の有無にかかわらず、ASUSは肉体的損害（死亡したケースを含む）と不動産及び有形動産への損害のみに賠償責任を負います。或は、それぞれの製品の記載された協定価格を限度とし、「Warranty Statement」のもとに生じる法的義務の不作為または不履行に起因するいかなる実害と直接的な被害のみに対して賠償責任を負います。

ASUSは「Warranty Statement」に基づき、不法行為または侵害行為が発生した場合と、契約に基づく損失や損害が生じた場合及びその主張に対してのみ賠償し、責任を負います。

この責任制限は、ASUSの供給者または販売代理店にも適用されます。賠償の際は、ASUSとその供給者及び購入した販売代理店を一集合体としてその限度額を定めており、その限度額に応じた賠償が行われます。

以下のケースに対しては、ASUSとその供給者及び販売代理店がその可能性を指摘されている場合においても、ASUSはいかなる賠償及び保証を行いません。

- (1) ユーザーが第三者から請求されている申し立て
- (2) ユーザーの個人情報やデータの損失
- (3) 特殊、偶発的、或は間接的な損害、または貯蓄や諸利益を含むあらゆる結果的な経済的損害

サービスとサポート

多言語に対応した弊社サポートサイトをご覧ください。
<http://www.asus.com/support>

もくじ

はじめに	5
このマニュアルの表記について	6
表記	6
多言語版	6
安全上の注意	7
LEDプロジェクターを使用する	7
修理、パーツ交換	8
プロジェクターのお手入れ	8
廃棄・リサイクルについて	8

Chapter 1: 本製品概要

製品概要	10
上面	10
前面	13
背面	14
右側	17
左側	17
底面	18
リモコン	19
リモコンの電池交換	21

Chapter 2: セットアップ

LEDプロジェクターの設置	24
1. 電源アダプターをLEDプロジェクターに接続する	24
2. 周辺機器をLEDプロジェクターに接続する	26
3. LEDプロジェクターの高さを調節する	32
4. 電源ボタンを押す	34
5. 焦点を合わせる	35

Chapter 3: 使用方法

オンスクリーンディスプレイの操作.....	38
コントロールパネルグリッド	39
LEDプロジェクターを初めて使用する	40
プロジェクターの設定.....	41
データを転送する	50
3Dメガネを使用する	51
3Dコンテンツを閲覧する.....	51
デモモードを使用する.....	53
デモモードを有効にする.....	53
オリジナルデモムービーを作成する.....	54
メディアセンターを使用する	55
メディアセンターを起動する	55
microSDカード/USBメモリー/内蔵メモリー内のファイルを開く	56
Wi-Fi	62
多言語版.....	68

付録

Federal Communications Commission Statement.....	70
Regional notice for California.....	70
Canadian Department of Communications Statement.....	71
Global Environmental Regulation Compliance and Declaration ...	71
回収とリサイクルについて	71
P3B LED プロジェクターの仕様一覧.....	72
サポートするPCのタイミング	75

はじめに

この度はASUS製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本マニュアルでは、本製品の設置方法、接続方法、各種機能の設定方法について説明をしています。お客様に本製品を末永くご愛用いただくためにも、ご使用前にこのユーザーマニュアルを必ずお読みください。

本マニュアルは、以下の内容で構成されています。

Chapter 1: 製品概要

本製品の各部位および付属のリモコンについて

Chapter 2: セットアップ

本製品の設置および接続方法について

Chapter 3: 使用方法

本製品の使用方法および機能について

付録

本製品の規格や海外の法令について

このマニュアルの表記について

本書には、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止していただくために、守っていただきたい事項が記載されています。次の内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

参考: 製品を使いやすくするための情報や補足の説明を記載しています。

注意: ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性があることを示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

警告: 作業人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

表記

太字 = 選択するメニューや項目を表示します。

多言語版

他の言語のマニュアルをご覧になりたい場合は、弊社サポートサイトよりダウンロードいただけます。

<http://www.asus.com/support>

参考: 本書に記載の内容 (安全のための注意事項を含む) は、製品やサービスの仕様変更などにより、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

安全上の注意

LEDプロジェクターを使用する

- 本製品をご使用いただく前に必ず本書をご熟読の上、正しく安全にお使いください。
- 本マニュアル記載の指示内容を守って製品をご使用ください。
- 水平で安定した場所に設置してご使用ください。
- 油煙やタバコなどの煙が当たる場所で使用・保管しないでください。投写映像の品質が劣化することがあります。
- 本製品及びパッケージは子供やペットの手の届かない場所に大切に保管してください。
- 本機の吸気口・排気口・通気口をふさがないようにください。吸気口・排気口・通気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- 本製品を電源に接続する際は、電圧が適切であるかをご確認ください。
- 表示されている電源電圧以外は使用しないでください。
- 金属類・燃えやすい物・異物などを本機の吸気口・排気口に差し込んだり、落としたり、近くに放置したりしないでください。
- 電源投入後は、絶対にレンズをのぞかないでください。
- 本機を液体の近くで使用しないでください。
- 湿気やホコリの多い場所・調理台や加湿器のそばなど、油煙・湯気が当たるような場所に置かないでください。
- 本機をご使用にならないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本機を移動させる場合は、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。

修理、パーツ交換

- 本製品を分解、改造しないでください。修理が必要な場合は、ASUSサポートセンターにご相談ください。
- 本製品の部品や消耗品の交換が必要な場合は、弊社が指定する部品をご使用ください。

プロジェクターのお手入れ

- 本機のお手入れの際は、電源を切りACアダプターを取り外してください。
- 本機のケースのお手入れの際は、清潔なスポンジまたは柔らかい布に研磨材の含まれていない洗剤を温水で薄めたものを数滴含ませ、汚れを拭き取ってください。最後に乾いた布を使って余分な水分を完全に取り除いてください。
- レンズのお手入れは、レンズの温度が下がってからレンズ専用のクリーナーをご使用ください。指などで直接レンズに触れないようご注意ください。
- 液体・雨・湿気を避けてください。
- 本機を気温の低い場所から暖かい場所に移動して使用すると、レンズや内部コンポーネントが結露する場合があります。結露を防ぐには、本機の移動後、約2時間経過してから本機を使用してください。

廃棄・リサイクルについて



本機やバッテリー（該当する場合）を一般廃棄物として廃棄しないでください。本製品のコンポーネントの中にはリサイクルできるよう設計されているものがあります。なお、本製品は水銀ボタン電池を含む電子機器です。本製品を一般ゴミとして廃棄しないでください。リサイクル、廃棄の際は電子機器の廃棄に関する地域の条例等に従ってください。



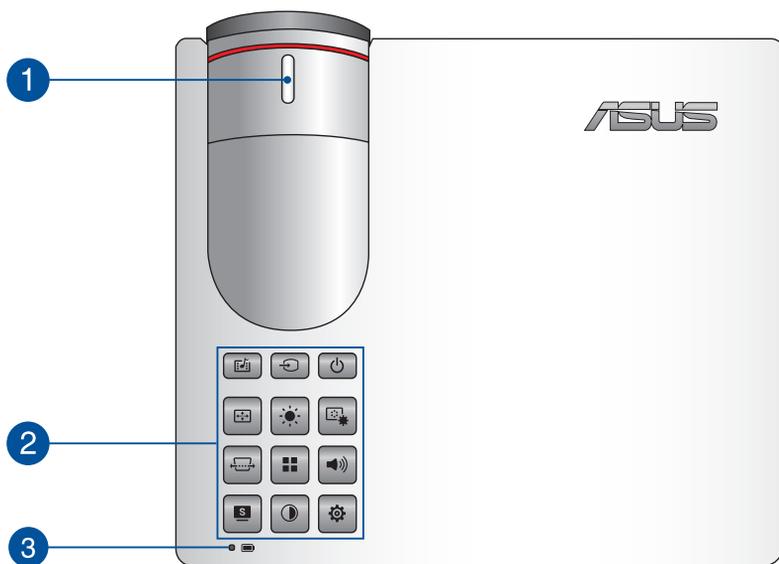
バッテリー（該当する場合）を一般ゴミとして廃棄しないでください。リサイクル、廃棄の際は電子機器の廃棄に関する地域の条例等に従ってください。

Chapter 1:

製品概要

製品概要

上面



1 フォーカスリング

本機が投写する画像の焦点 (ピント) を合わせます。

2 コントロールパネルボタン

コントロールパネルボタンを使用してオンスクリーンディスプレイ (OSD) を操作します。コントロールパネルボタンはそれぞれの機能のショートカットキーとしても動作します。



メディアセンター



入力



電源



イメージ位置



輝度



画質設定



キーストーン
(台形補正)



メインメニュー/
OK



ボリューム



Splendid



コントラスト



セットアップ

参考:

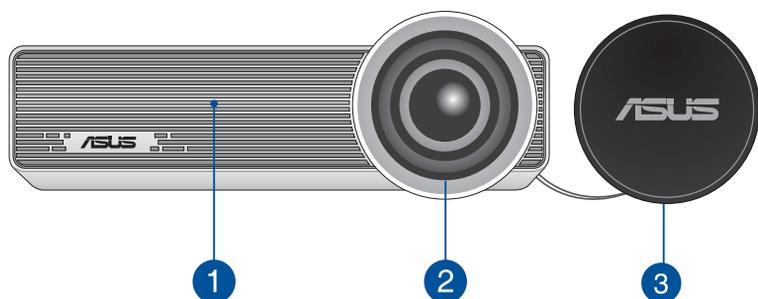
- 各ボタンの詳細については、「**Chapter 3: 使用方法**」をご覧ください。
 - 本機が応答しない場合は、電源ボタンを 5 秒以上押し続けてプロジェクターの電源を強制的に切ることができます。
-

3 バッテリーステータスインジケータ

バッテリーステータスインジケータは、内蔵バッテリーの充電状態を示します。内蔵バッテリー駆動時に本体背面の  ボタンを押すことでバッテリーの状態を確認することができます。インジケータが示す状態は次の表をご覧ください。

色	状態
グリーン	電源に接続されており、バッテリー残量は95～100%です。
オレンジ	電源に接続されており、バッテリー残量は95%未満です。
ブルー	バッテリー駆動しており、バッテリー残量は21～94%です。
レッド	バッテリー駆動しており、バッテリー残量は20%未満です。

前面



1 吸気口

本機内部を冷却するための空気を取り込みます。

警告: 本機の吸気口・排気口、通気口をふさがないでください。吸気口・排気口・通気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

2 投写レンズ

入力された信号をスクリーンに投写するためのレンズです。

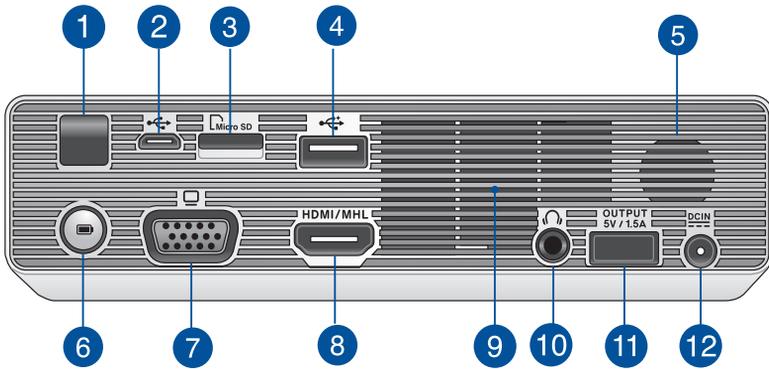
注意: レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

3 レンズカバー

本機を使用しない場合、レンズカバーを装着することで投写レンズを保護します。

注意: 本機を使用する際は、必ずレンズカバーを取り外してからご使用ください。

背面



1 リモコンセンサー

リモコンからの信号を受信します。信号受信範囲は受光部真正面から上下左右に各30度、最大7mです。

2 Micro USB 2.0ポート*

Micro USB 2.0 (Micro-B) ポートです。入力デバイスからデータを転送し投写することができます。

3 microSDカードリーダー

microSD / microSDHCカード対応のカードリーダーです。microSDカードに保存されたコンテンツを投写することができます。

4 USB 2.0 ポート (Type A)

USB 2.0 (Type A) ポートです。Wi-Fiドングル (オプション) USBメモリーを接続することができます。

5 オーディオスピーカー

音声を出力します。本製品は、ASUS独自のオーディオテクノロジー「SonicMaster」搭載により、クリアで迫力ある重低音サウンドを実現します。

6 パワーバンクボタン

パワーバンクボタンを押すことでバッテリーの状態をバッテリーステータスインジケーターで確認することができます。充電機能を開始する場合は、本機が電源オフ状態でデバイスを電源出力ポートに接続しこのボタンを押します。

7 VGA入力ポート

VGAケーブル (ミニD-sub 15ピン) を使用してコンピューター映像信号やビデオ機器のコンポーネントビデオ信号を入力します。

8 HDMI/MHL 入力ポート

HDMI / MHL に対応したデバイスを接続します。本機は HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection) に対応しています。

9 吸気口

本機内部を冷却するための空気を取り込みます。

警告: 本機の吸気口・排気口、通気口をふさがないでください。吸気口・排気口・通気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

10 オーディオ出力ポート

3.5mm ミニプラグのヘッドホンやアクティブスピーカーを接続します。

11 電源出力ポート (USB Type-A)

このポートに接続されたデバイスに最大5V/1.5Vの電源を供給します。

参考: システム電源オン時、MHL機器使用時、画質モード「ダイナミック」使用時は充電機能を使用することはできません。

12 電源入力ポート

付属の電源アダプターを接続します。

警告: 本製品の使用中、電源アダプターは非常に高温になります。高温部に触れたり近づいたりすると火傷の原因となることがあります。

警告: 仕様の合わない電源アダプターや電源コードを使用すると、火災や感電、故障の原因となります。電源アダプターは必ず当社指定の製品をご使用ください。

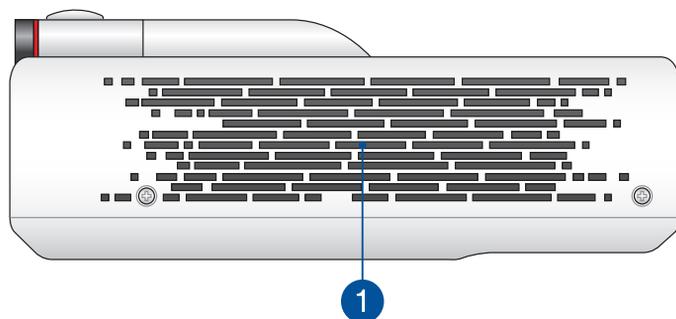
右側



1 セキュリティスロット

Kensington®社製マイクロセーバーセキュリティシステムに対応したセキュリティスロットです。

左側

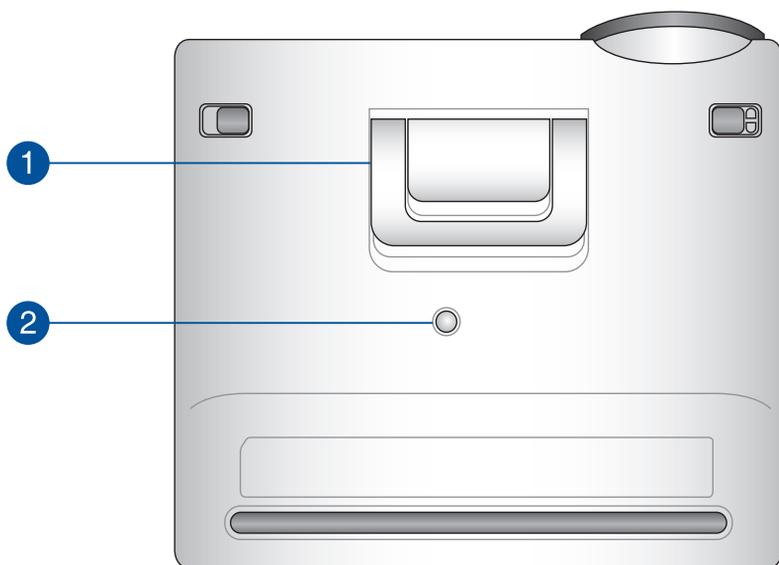


1 通気口

本機内部を冷却するために熱を逃がします。

警告: 本機の吸気口・排気口、通気口をふさがないでください。吸気口・排気口・通気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

底面



1 フットスタンド

2段階の高さ調節が可能なスタンドです。映像の高さを5.7度または9度の高さで調整することができます。

2 三脚取り付け部

市販の三脚を取り付けることができます。

リモコン

参考: 画像はイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。



1 コントロールパネルボタン

コントロールパネルボタンを使用してOSD (オンスクリーンディスプレイ) を操作します。コントロールパネルボタンはそれぞれの機能のショートカットキーとしても動作します。

参考: 各ボタンの詳細については、「Chapter 3: 使用方法」をご覧ください。

2 リモコンボタン

これらのボタンで本機を遠隔操作することができます。



戻る - 前の画面に戻ります。



ホーム - ホーム画面に戻ります。



レーザーポインター - このボタンを押している間、レーザーが照射されます。ボタンを放すと照射を停止します。



巻き戻し - メディアファイルを巻き戻します。



再生/一時停止 - メディアファイルを再生/一時停止します。



早送り - メディアファイルを早送りします。

3 電池収納部

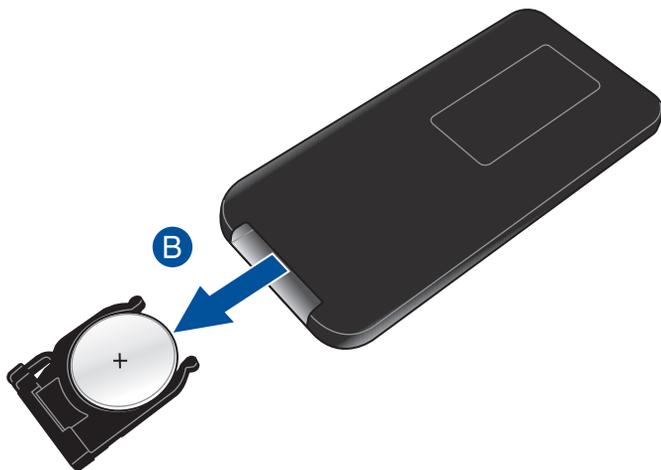
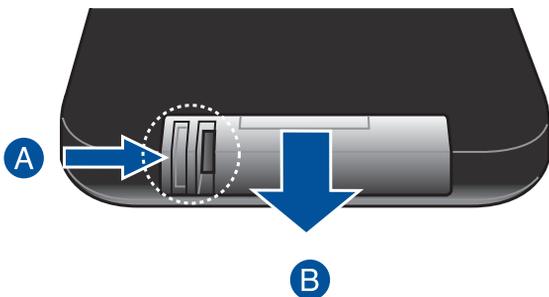
リモコン動作用のコイン型リチウム電池 (CR2025) を収納します。

参考: リモコン電池の交換方法については、次のページをご覧ください。

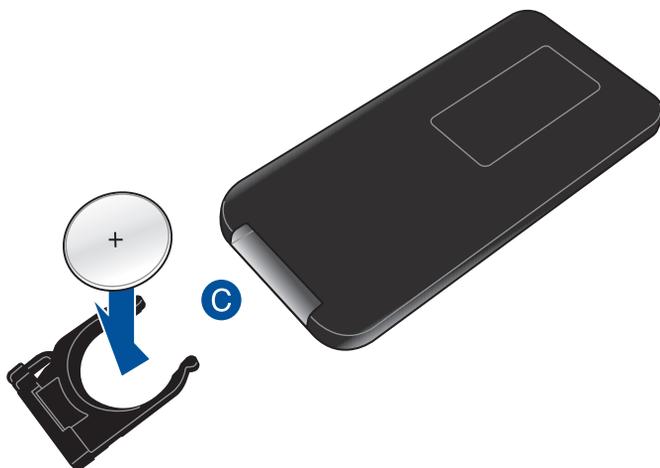
参考: はじめてお使いになるときは、電池収納部の絶縁フィルムを取り外してください。電池はあらかじめセットされています。

リモコンの電池交換

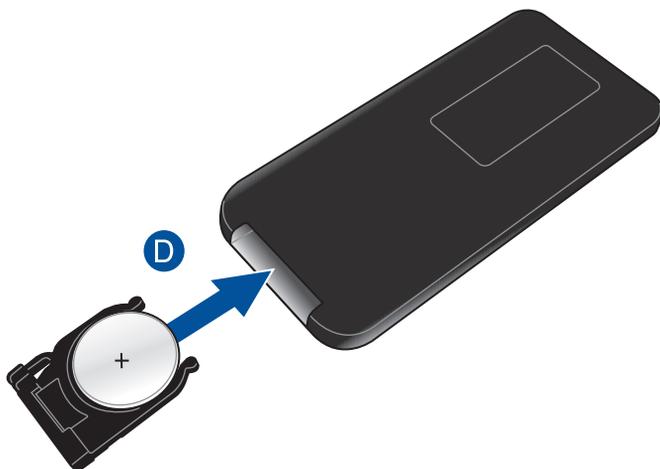
- A. 電池収納部のラッチ (A) を右側に押し、ロックを解除しながら電池ホルダーを下方 (B) に引き出します。
- B. 電池ホルダーをリモコンから完全に引き抜きます。



- C. 新しい電池と交換します (CR2025)。電池ホルダーの表示を確認し、(+) (-) を正しく入れてください。



- D. 「カチッ」と音がするまで電池ホルダーを電池収納部にしっかりと差し込みます。



Chapter 2: セットアップ

LEDプロジェクターの設置

本製品はプラグアンドプレイに対応しており、USBメモリーやSDメモリーカードに保存したコンテンツを簡単な操作で投写することができます。また、Wi-Fi経由で投写することも可能です。

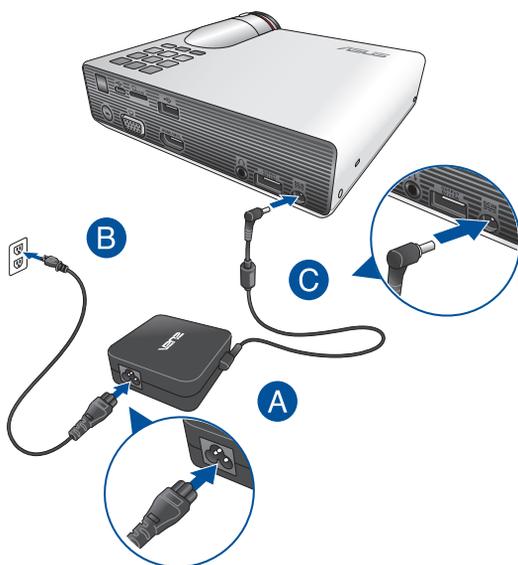
次の手順に従って、本製品を正しく設置してください。

1. 電源アダプターをLEDプロジェクターに接続する

- A. 電源コードを電源アダプターに接続します。
- B. 電源コードをコンセントに接続します。
- C. 電源アダプターを本製品の電源ポートに接続します。

参考: 本製品は当社製の純正電源アダプター (65W/90W) を使用することができます。

 初めてバッテリー電源で本機を使用する際は、3時間程度充電してください。



電源コードについて

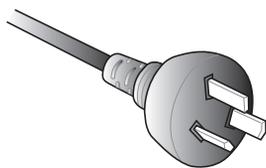
ご使用の地域の規格に適合した電源ケーブル、及びコンセントプラグをご使用ください。

注意: 万一、本製品に付属のAC電源コードがお住まいの地域で使用されているプラグの形状と異なる場合は、すぐにご購入元にお申し出ください。

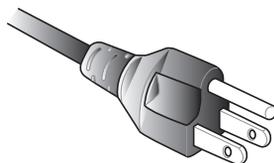
参考: サージ電圧による信号の乱れを防ぐため、出力元デバイスにはアース付きコンセントプラグのご利用を強くお勧めします。

プラグ形状一例

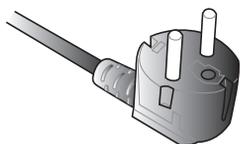
※本製品に付属する電源ケーブルのプラグ形状は、ご購入の国や地域により異なります。



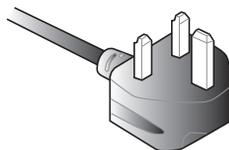
Type O2



Type A (アース有り)



Type SE

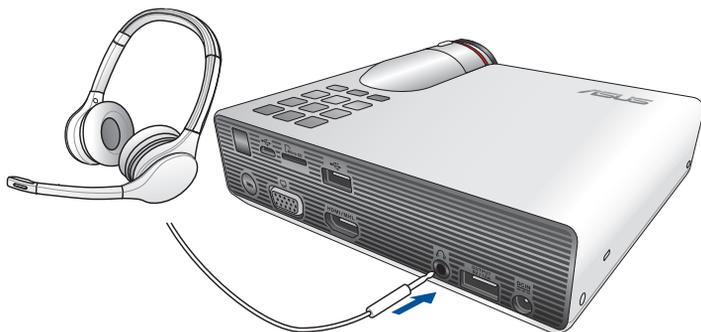


Type BF

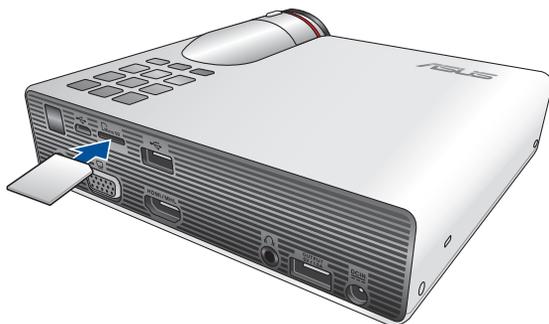
参考: 地域や施設によってコンセントの形状は異なります。

2. 周辺機器をLEDプロジェクターに接続する

A. オーディオ出力ポート

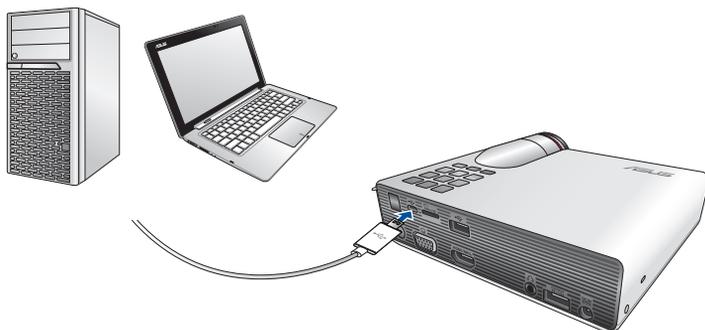


B microSDカードリーダー



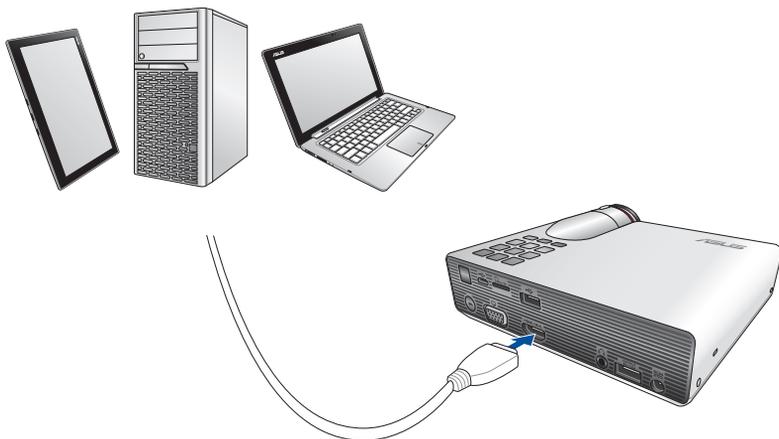
参考: microSDメモリーカードに保存されたコンテンツの投写方法については、「**Chapter 3: 使用方法**」をご覧ください。

C Micro USB 2.0ポート



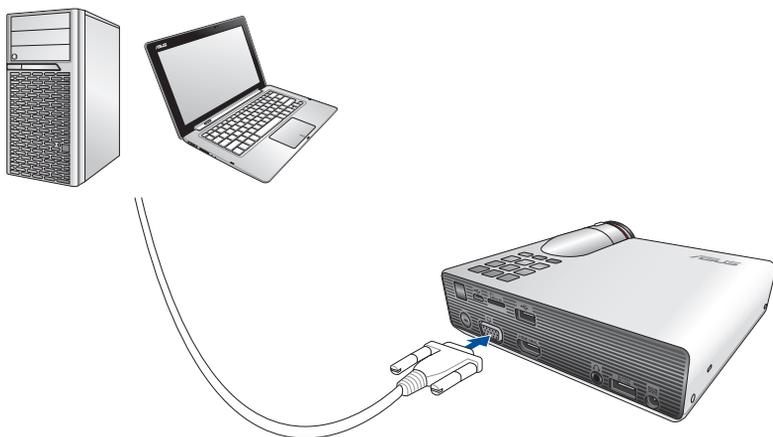
警告: データの破損や消失を防止するため、データ転送中は絶対に本機をコンピューターから抜かないでください。

D. HDMI/MHL 入力ポート

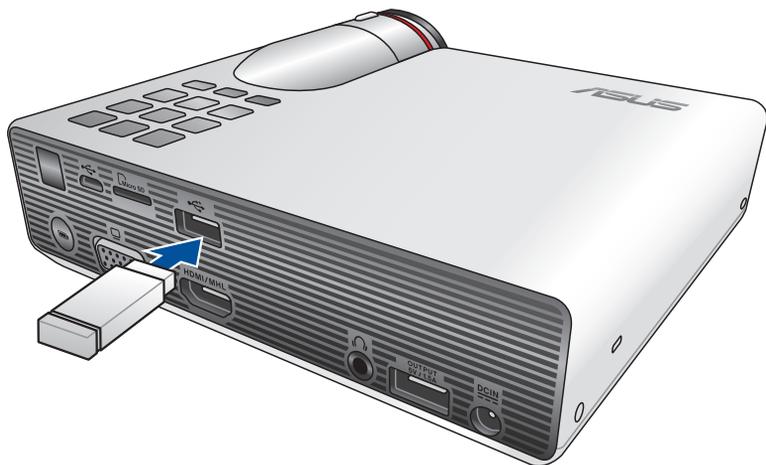


参考: スマートフォンやタブレットを接続する場合は、別途市販の HDMI/MHL変換アダプターが必要になる場合があります。

E. VGA入力ポート



F. USB 2.0 ポート (Type A)



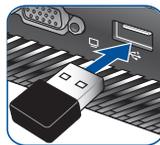
互換性のあるUSB 2.0 デバイス



USBケーブル



USBメモリー



Wi-Fi ドングル

参考: USBメモリーに保存されたコンテンツの投写方法については、「**Chapter 3: 使用方法**」をご覧ください。

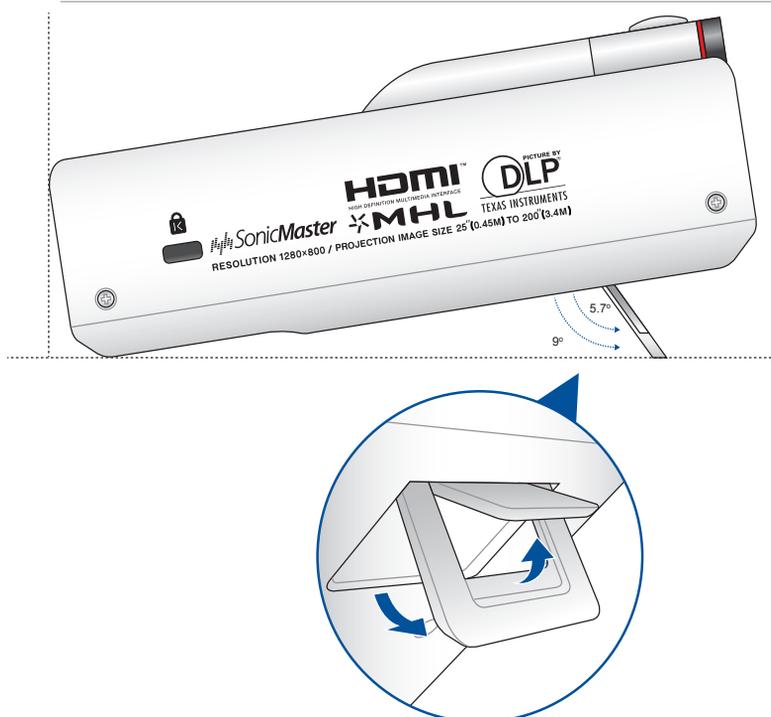
3. LEDプロジェクターの高さを調節する

本製品にはフットスタンドが搭載されており、映像の高さを2段階で調整することができます。

注意: プロジェクターをキャリングケースに収納する前に、必ずフットスタンドを元の位置に収納してください。

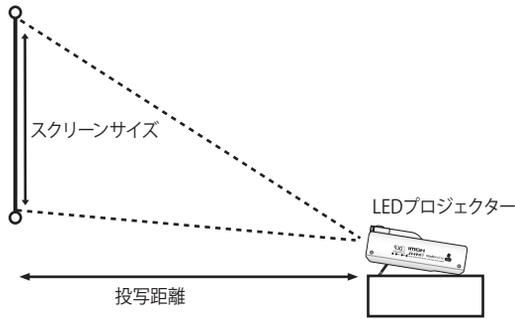
警告:

- 水平で安定した場所に設置してご使用ください。
- 本機の吸気口・排気口・通気口をふさがないでください。吸気口・排気口・通気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。本機は壁から30cm以上離ご使用ください。
- 天井への取り付け(天吊り設置)工事は、特別な技術が必要となります。正しく工事が行われないと、落下によりケガや事故の原因となります。取り付け工事は必ず工事専門業者あるいは販売店にご依頼ください。



スクリーンサイズと投写距離の一覧

本機からスクリーンまでの距離により投写サイズが決まります。次の表を参考に、適切なサイズで投写できる位置に本機を設置してください。



スクリーンサイズ						投写距離	
対角線		幅		高さ			
インチ	cm	インチ	cm	インチ	cm	フィート	m
30	76	25.6	65	15.7	40	1.71	0.52
50	127	42.1	107	26.4	67	2.82	0.86
65	165	55.1	140	34.2	87	3.67	1.12
80	202	67.7	172	42.1	107	4.53	1.38
100	254	84.6	215	52.7	134	5.64	1.72
150	381	127.2	323	79.5	202	8.50	2.59
200	508	169.3	430	105.9	269	11.28	3.45

参考: キーストーン (台形補正) を行なうと、投写サイズは小さくなります。

4. 電源ボタンを押す

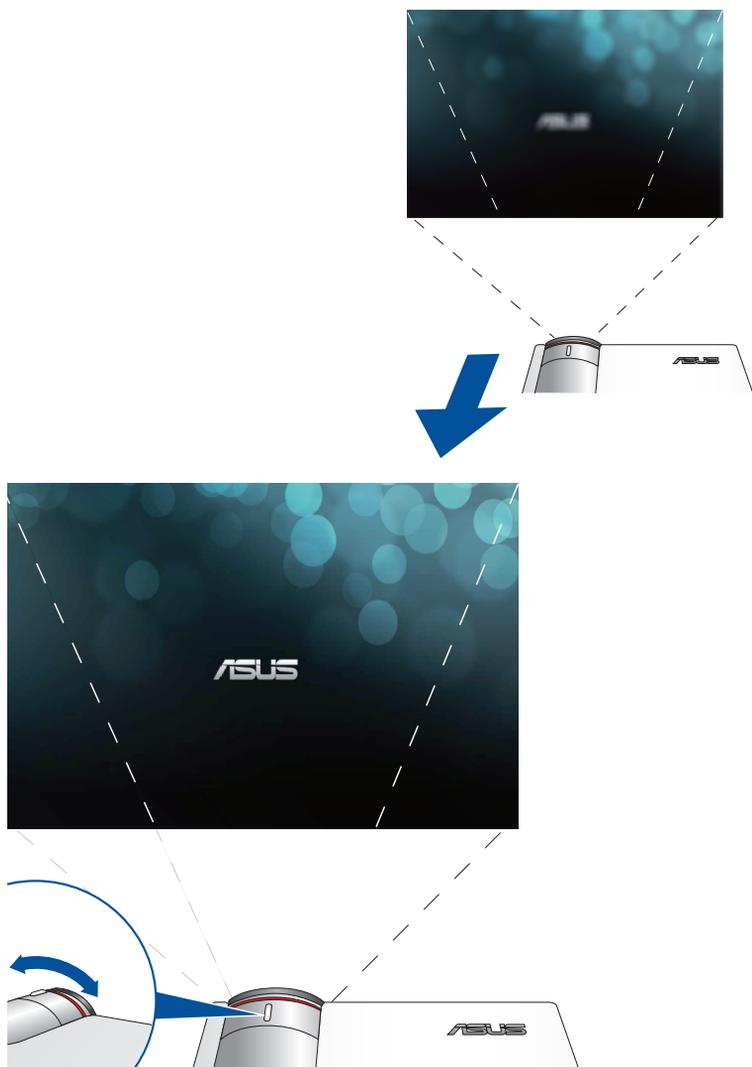
本機またはリモコンの電源ボタンを押してLEDプロジェクターの電源を入れます。



5. 焦点を合わせる

フォーカスリングを左右に動かし、焦点 (ピント) を調整します。

参考: 焦点を調整する際は、静止画を表示した状態で調整することをお勧めします。

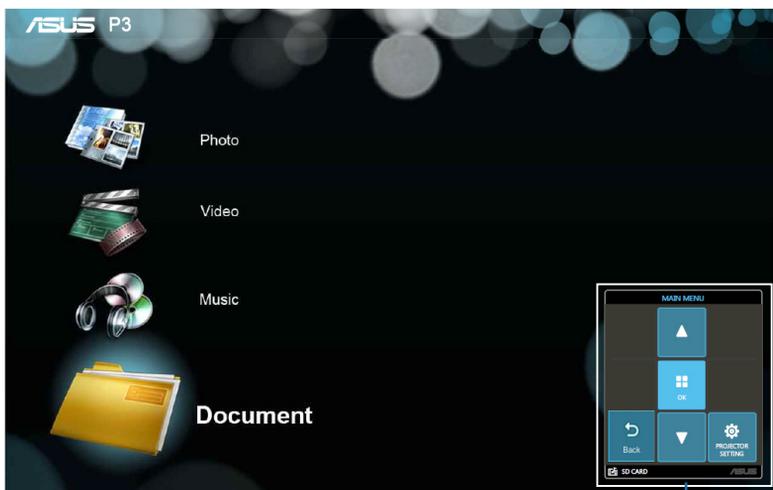


Chapter 3:

使用方法

オンスクリーンディスプレイの操作

本製品にはさまざまな機能が搭載されており、それらの機能をすべてオンスクリーンディスプレイ (OSD) で操作することができます。オンスクリーンディスプレイの操作は、本機上面のコントロールパネルボタン、またはリモコンで操作します。



コントロールパネルグリッド

注意: 本書に記載のイラストや画面は参考用です。ファームウェアのバージョンによって、利用できる機能や表示される画面、操作するボタンの名称が異なる場合があります。予めご了承ください。

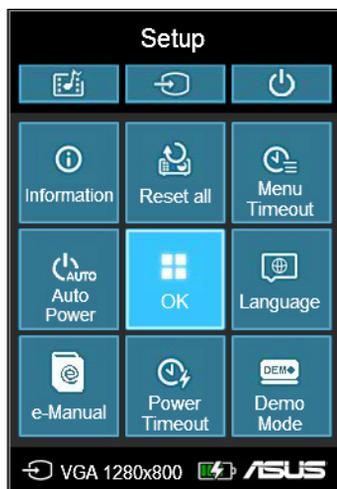
コントロールパネルグリッド

オンスクリーンディスプレイ操作を行なう際は、投写映像に表示されるコントロールパネルグリッドに合わせて各ボタンを操作します。

コントロールパネルグリッドは、本機上面のコントロールパネルボタン、またはリモコンのボタンの配置に準じています。

コントロールパネルボタン

コントロールパネルグリッド の一例



LEDプロジェクターを初めて使用する

はじめて本機を使用する場合は、次の手順で作業を行ってください。

1. Chapter2: セットアップの手順に従って正しく設置した後、電源ボタンを押します。
2. 言語選択画面が表示されます。コントロールパネルグリッドに従って、コントロールボタンまたはリモコンで使用する言語を選択します。
3. デモモードの選択画面が表示されます。デモモードを使用する場合は「**オン**」を、使用しない場合は「**オフ**」を選択しOKボタンを押します。

デモモード「オン」 - デモムービーを再生します。

参考:

- デモモードを「**オン**」の状態ですべて電源をオフにした場合、次回起動時に再度デモモードのコントロールパネルグリッドが表示されます。
- デモモードを「**オン**」にすると、自動的に内蔵デモムービー、またはオリジナルデモムービーが再生されます。

デモモード「オフ」 - デモムービーを再生せず、接続されたデバイスのスキャンを開始します。

参考: デモモードを「**オフ**」の状態ですべて電源をオフにした場合、次回起動時はデバイスのスキャンが実行されます。

4. デモモード時に  ボタンを押すことで、デモモードを停止し、接続されたデバイスのスキャンを開始することができます。

プロジェクターの設定

本機は、コントロールパネルボタンを使用してオンスクリーンディスプレイを操作します。コントロールパネルボタンはそれぞれの機能のショートカットキーとしても動作します。

参考: メディアセンター機能を使用している際は、「**プロジェクター設定**」を選択することでメインメニューが表示されます。

電源

本機の電源のオン/オフを切り替えます。

輝度

投写映像の明るさを調整します。

キーストーン (台形補正)

投写映像の台形歪みを調整します。

メインメニュー/OK

メインメニューの表示、または設定内容を適用するOKボタンとして使用します。

ボリューム

スピーカー音量を調節します。

警告: はじめから音量を上げすぎないようにご注意ください。突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります。電源を切る前にボリュームを下げておき、電源を入れた後で徐々に上げてください。

コントラスト

映像のコントラスト (明暗差) を調整します。

メディアセンター

メディアセンターを起動します。

参考: メディアセンターの詳細については、「**メディアセンターを使用する**」をご覧ください。

入力

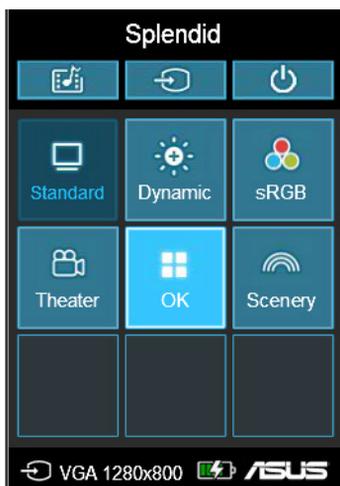
本機に接続された入力デバイスをスキャンします。



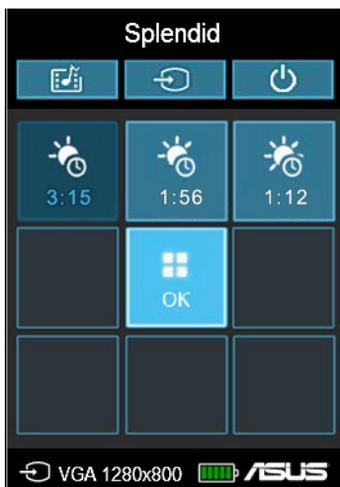
Splendid

投写環境に応じて、プリセット設定から最適な画質に切り替えることができます。利用できるプリセット設定は次のとおりです。

標準、ダイナミック、sRGB、シアター、風景



バッテリー駆動時にこのボタンを押して明るさを変更することができます。アイコンの下に表示される数字は選択した明るさでの推定駆動時間を表しています。





画質設定

投写映像の画質を設定します。設定項目は次のとおりです。

参考: 現在投写している映像信号や入力デバイスにより設定できる項目は異なります。



- **色温度:** 映像全体の色合いを調整します。
- **色調整 (HDMI/MHL専用):** 映像出力信号を設定します。
- **色強調:** 映像の色の濃さを調整します。

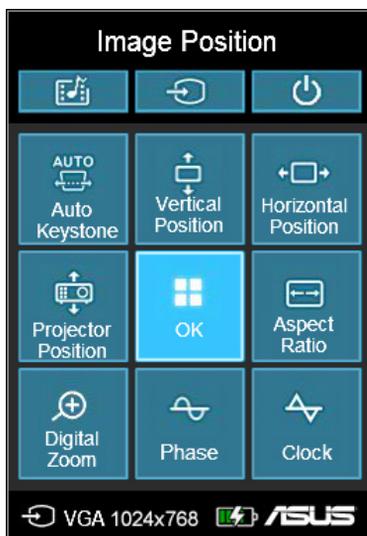
- **壁色補正:** 投写壁面の色にあわせて設定することで色のズレを補正し、白いスクリーンに投写した映像に近い精彩な色合いを再現することができます。





イメージ位置

投写映像の位置を設定します。設定項目は次のとおりです。



- **自動キーストーン:** 映像の自動台形歪み調整機能のオン/オフを切り替えます。
- **水平位置 (VGA入力時のみ):** 映像の水平位置を調整します。
- **映像ポジション:** 本機の設置状態に合わせて、映像の投写方法を設定します。
- **垂直位置 (VGA入力時のみ):** 映像の垂直位置を調整します。
- **アスペクト比:** 入力信号の種類や縦横比、解像度に合わせて、投写映像のアスペクト比を設定します。
- **デジタルズーム:** 映像を部分的に拡大したり、縮小表示することができます。

- **フェーズ (位相) (VGA入力時のみ):** 入力された信号のタイミングに合わせて、プロジェクターの位相を調整します。
- **クロック (周波数) (VGA入力時のみ):** 入力された信号のタイミングに合わせて、プロジェクターの周波数を調整します。



セットアップ

本機の各種設定を行います。設定項目は次のとおりです。



- **情報:** 本機の現在の状態を表示します。
 - 製品モデル名
 - 現在表示している入力デバイス
 - 現在設定されているSplendidモード
- **全てリセット:** 本機の設定を工場出荷時の状態に戻します。
- **メニュータイムアウト:** 指定した時間が経過した後に、オンスクリーンディスプレイのコントロールパネルグリッドを自動的に閉じます。
- **ダイレクトパワーオン:** 電源アダプターを接続することで自動的に本機の電源が入る機能を設定します。この機能を有効に設定した場合、バッテリー駆動と電源出力ポートは使用できません。
- **言語:** 本機の表示言語を設定します。

- **e-マニュアル:** 本機に内蔵されているデジタルマニュアルを表示します。
- **自動電源オフ:** 指定したアイドル時間が経過した後に、自動的に電源をオフにします。時間は30分単位で設定することができます。
- **デモ:** デモモード機能のオン/オフを切り替えます。

参考: デモモードの詳細については、「**デモモードを使用する**」をご覧ください。

データを転送する

本機には内蔵メモリーが搭載されており、コンピューターから内蔵メモリーにデータを転送留守することができます。

手順

1. コンピューターと本機のMicro USB 2.0 ポートをUSBケーブル (別売) で接続します。
2.  ボタンを押し、「**データ転送**」を選択します。本機の内蔵メモリーがリムーバブルディスクとして認識されます。
3. ファイルをコンピューターから内蔵メモリー (リムーバブルディスク) にコピーします。

警告: データの破損や消失を防止するため、データ転送中は絶対に本機をコンピューターから抜かないでください。

3Dメガネを使用する

本製品は3D立体視表示に対応しており、専用の3Dメガネ（別売）を使用することで迫力のある3D映像をお楽しみいただくことができます。

重要: DLP Link方式の3Dメガネ（別売）をご使用ください。

参考: 3Dコンテンツの閲覧方法について、詳しくは別売の3Dメガネに付属の取扱説明書をご覧ください。

3Dコンテンツを閲覧する

1. 3D表示に対応したソフトウェアとコンテンツをコンピューターに準備します。

重要: 3D映像信号は120Hzのフレームシーケンシャル方式のみの対応となります。

2. 3Dメガネの電源を入れます。
3. コンピューターの画面の解像度を1024×768、画面のリフレッシュレートを120ヘルツに設定します。

参考: 本機は3Dフォーマットが判別できる映像信号を受信すると、自動的に映像を3Dで投写します。

4. 3D表示に対応したソフトウェアで3Dコンテンツを再生します。

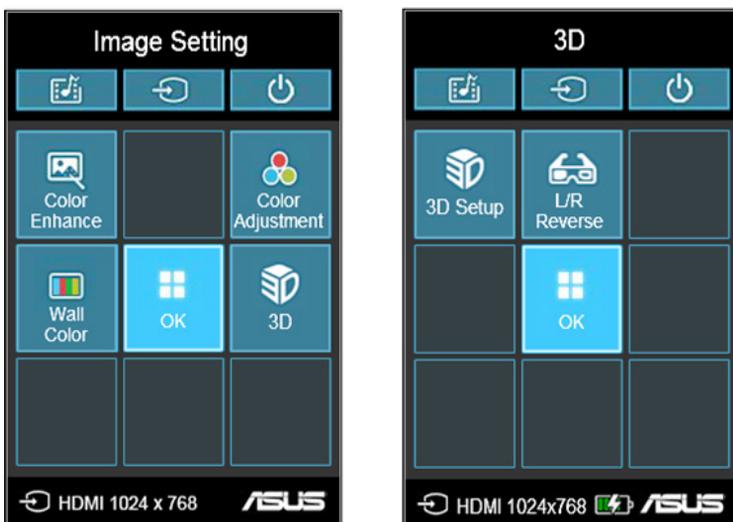
- 3Dメガネは同梱されていません。別途お買い求めください。
 - 本製品はBlu-ray 3Dの再生には対応しておりません。
 - 3D映像の見え方には個人差があります。
 - 3D映像の視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、使用を中止してください。
 - 光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3D映像を視聴しないでください。症状悪化の原因になることがあります。
 - 3D映像の視聴年齢については、6歳以上を目安にしてください。
 - 6歳未満のお小様の3D視聴については、視覚が発達段階にあるため、必要に応じて医師にご相談ください。
 - お小様が3Dメガネで視聴する場合は、必ず保護者が同伴してください。お小様が視聴する場合は、疲労感や不快感などに対する反応がわかりにくいいため、急に体調が悪くなる場合がありますので、保護者の方が、目の疲れがないかご注意ください。
-

サポートする3D入力信号

入力	信号	解像度	リフレッシュレート(Hz)	3Dフォーマット
HDMI	XGA	1024×768	120	フレームシーケンシャル方式
VGA	XGA	1024×768	120	フレームシーケンシャル方式

- * 本機がサポートする3D表示解像度は1024×768のみです。
- ** 入力信号のリフレッシュレートが120Hzに設定されている場合、一部機能が使用できません。

3D設定



参考: 3D設定は3Dフォーマットが判別できる映像信号を受信すると表示されます。

- **3D設定:** 3D表示に関する設定します。
- **左右反転:** 3Dメガネの左右シャッターと左右映像との同期タイミングを反転します。

デモモードを使用する

本製品はデモンストレーション用のデモモードが搭載されており、内蔵されているデモムービーやユーザーの設定したオリジナルデモムービーを再生することができます。

デモモードを有効にする

1. 「メインメニュー」ボタンを押してメインメニューを開き、「**プロジェクター設定**」を選択します。メディアセンター機能を使用している場合は、「**プロジェクターの設定**」の選択をしてから同じ操作を行いません。
2. 「**セットアップ**」→「**デモ**」の順に進みます。
3. 「**オン**」を選択した状態でOKボタンを押し、デモモードを開始します。

重要: デモモードを「**オン**」の状態でも電源をオフにした場合、次回起動時に必ずデモモードのコントロールパネルグリッドが表示されます。コントロールパネルグリッドの表示後、操作せずに一定時間経過すると自動的にデモムービーの再生が開始されます。

オリジナルデモムービーを作成する

本製品では、複数の画像ファイルを使用してオリジナルのデモムービーを作成することができます。オリジナルデモムービーにはBGMを追加することも可能です。

手順

1. コンピューターを使用して、microSDメモリーカードまたはUSBメモリーのルートディレクトリに「**ASUS**」フォルダーを作成します。(カギ括弧の入力は不要です)
2. デモムービーに使用する画像ファイル、音楽ファイル、動画ファイルを「**ASUS**」フォルダーに保存します。

参考:

- ASUSフォルダー内に画像ファイル、音楽ファイル、動画ファイルが混在している場合、デモモードは動画ファイルだけをデモムービーとしてループ再生します。
- サポートするファイルフォーマットについては、「**P3B LED プロジェクターの仕様一覧**」をご覧ください。

-
3. 「**ASUS**」フォルダーが作成されたmicroSDメモリーカードまたはUSBメモリーを本機に接続します。
 4. 本機の電源をオンにし、デモモードをオンにします。

メディアセンターを使用する

本製品に搭載のメディアセンター機能で、別途機材を準備することなく、画像、動画、音楽、ドキュメントの各ファイルを再生することができます。また、本製品はWi-Fi機能やUSB端子からの映像出力にも対応しています。

メディアセンターを起動する

microSDメモリーカード、USBメモリー、Wi-Fi dongleが接続された状態で電源をオンにすると、本機は優先的にメディアセンターを起動します。

メディアセンターを手動で起動する場合は、コントロールパネルの  ボタンを押します。



SDカード: microSDメモリーカードに保存されたファイルを開きます。

USBメモリー: USBメモリーに保存されたファイルを開きます。

内蔵メモリー: 本機の内蔵メモリーに保存されているファイルを開きます。

WiFi: Wi-Fi機能を使用しコンピューターやスマートデバイスの画面を投写します。

参考: WiFiを使用するには、本機のUSBポートにWi-Fi dongleを接続する必要があります。

microSDカード/USBメモリー/内蔵メモリー内のファイルを開く

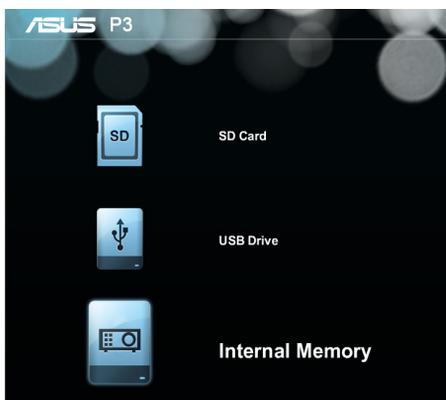
画像ファイル

サポートするファイルフォーマット

- JPG
- JPEG
- BMP (bitmap)

画像ファイルを開く

1. microSDメモリーカードまたはUSBメモリーを本機に接続します。
2. 本機の電源をオンにし、メディアセンターを起動します。
3. microSDカード/USBメモリー/内蔵メモリーを選択します。



4. 「画像」を選択します。



5. 再生するファイルを選択します。詳しい操作方法はオンスクリーンディスプレイのコントロールパネルグリッドをご覧ください。

6.  ボタンを押して、選択したファイルを再生します。
7. ファイルの再生中に  ボタンを押すことで、コントロールパネルグリッドの表示/非表示を切り替えることができます。

サポートするビデオ形式

ファイルタイプ	ビデオコーデック	解像度	ビットレート	フレームレート	オーディオコーデック	備考
AVI MKV DIVX	DIVX4/5/6 XVID MPEG-2/4 H.264 M-JPEG WMV3	1080P	280 Mbps	30 fps	AC3 DTS MPEG 1/2/3 PCM ADPCM AAC	VC-1 APはサポート外 参照フレーム数が4未満のH.264をサポート
TS	MPEG-2 H.264	1080P	20 Mbps	30 fps	AC3 AAC MPEG 1/2/3 DTS LPCM	参照フレーム数が4未満のH.264をサポート
DAT VOB MPG MPEG	MPEG-1 MPEG-2	1080P	20 Mbps	30 fps	MPEG-1/2/3 AC3 DTS LPCM	-
MOV MP4 3GP	MPEG-4 H.264 H.263	1080P	20 Mbps	30 fps	AAC AMR PCM ADPCM	参照フレーム数が4未満のH.264をサポート
RM RMVB	RV3 RV4	720P	5 Mbps	30 fps	Cook (RA6) AAC (RA9) RACP (RA10)	-
WMV	WMV3	1080P	20 Mbps	30 fps	WMA2 WMA3	VC-1 APはサポート外

参考: 本書に記載の内容は、製品やサービスの仕様変更などの理由により、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

ビデオファイルを開く

1. microSDメモリーカードまたはUSBメモリーを本機に接続します。
2. 本機の電源をオンにし、メディアセンターを起動します。
3. microSDカード/USBメモリー/内蔵メモリーを選択します。



4. 「ビデオ」を選択します。



5. 再生するファイルを選択します。詳しい操作方法はオンスクリーンディスプレイのコントロールパネルグリッドをご覧ください。
6.  ボタンを押して、選択したファイルを再生します。
7. ファイルの再生中に  ボタンを押すことで、コントロールパネルグリッドの表示/非表示を切り替えることができます。

サポートするオーディオ形式

ファイルタイプ	サンプルレート (kHz)	ビットレート (kbps)
MP1/ MP2/ MP3	8-48	8—320
WMA	22-48	5—320
OGG	8-48	64—320
ADPCM-WAV	8-48	32—384
PCM-WAV	8-48	128—1536
AAC	8-48	8—256

オーディオファイルを開く

1. microSDメモリーカードまたはUSBメモリーを本機に接続します。
2. 本機の電源をオンにし、メディアセンターを起動します。
3. microSDカード/USBメモリー/内蔵メモリーを選択します。



4. 「音楽」を選択します。



5. 再生するファイルを選択します。詳しい操作方法はオンスクリーンディスプレイのコントロールパネルグリッドをご覧ください。
6.  ボタンを押して、選択したファイルを再生します。

7. ファイルの再生中に  ボタンを押すことで、コントロールパネルグリッドの表示/非表示を切り替えることができます。

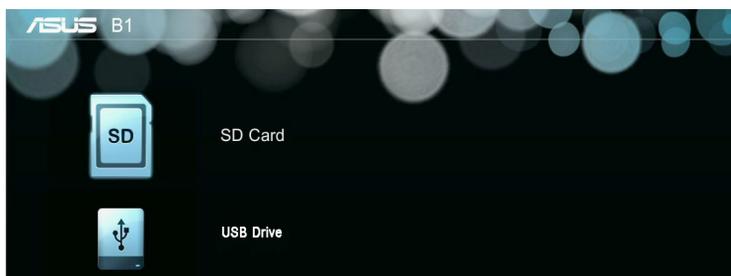
ドキュメント

ファイルタイプ	サポートバージョン	ページ数/行数の制限	サイズ制限	備考
Adobe PDF	PDF 1.0 PDF 1.1 PDF 1.2 PDF 1.3 PDF 1.4	最大100ページ (ファイル1つにつき)	最大75 MB	-
Microsoft® Office Word	Microsoft® Office Word 1995 Microsoft® Office Word 1997 Microsoft® Office Word 2000 Microsoft® Office Word 2002 Microsoft® Office Word 2003	Office ビューアは Microsoft® Word ファイルのすべてのページを同時には読み込まないため、ページ数や行数の制限はありません。	最大100 MB	簡体字中国語の太字はサポートしません。
Microsoft® Office Excel	Microsoft® Office Excel 1995 Microsoft® Office Excel 1997 Microsoft® Office Excel 2000 Microsoft® Office Excel 2002 Microsoft® Office Excel 2003 Microsoft® Office Excel 2007 (.xlsx) Microsoft® Office Excel 2010 (.xlsx) Microsoft® Office Excel XP	行: 最大595行 列: 最大256列 シート: 最大100枚 参考: 上記の制限のうち1つでも当てはまる場合、ファイルを投写することはできません。	最大15 MB	パスワードで保護されたシートはサポートしません。
Microsoft® Office PowerPoint	Microsoft® Office PowerPoint 1997 Microsoft® Office PowerPoint 2000 Microsoft® Office PowerPoint 2002 Microsoft® Office PowerPoint 2003 Microsoft® Office PowerPoint 2007 (.pptx)、Microsoft® Office PowerPoint 2010 (.pptx)、Microsoft® Office PowerPoint XP、.ppx、.ppsx	最大100ページ (ファイル1つにつき)	最大19 MB	スライドショーのコマンドはサポートしません。

参考: 本書に記載の内容は、製品やサービスの仕様変更などの理由により、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

ドキュメントファイルを開く

1. microSDメモリーカードまたはUSBメモリーを本機に接続します。
2. 本機の電源をオンにし、メディアセンターを起動します。
3. microSDカード/USBメモリー/内蔵メモリーを選択します。



4. 「ドキュメント」を選択します。



5. 再生するファイルを選択します。詳しい操作方法はオンスクリーンディスプレイのコントロールパネルグリッドをご覧ください。
6.  ボタンを押して、選択したファイルを再生します。
7. ファイルの再生中に  ボタンを押すことで、コントロールパネルグリッドの表示/非表示を切り替えることができます。

Wi-Fi

本製品はWi-Fi DongleをUSBポートに接続することで、Wi-Fi機能を使用してコンピューターやスマートデバイスの画面をスクリーンに投写することができます。

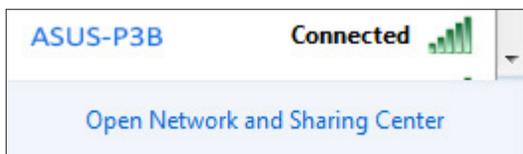
参考: Wi-Fi接続には、付属のWi-Fi Dongleが必要です。

専用ソフトウェアをインストールする

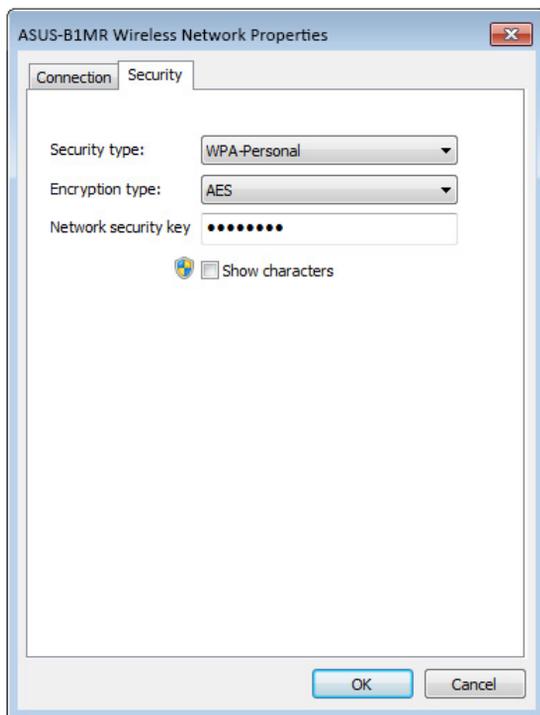
Wi-Fi機能を使用してコンピューターやスマートデバイスの画面をスクリーンに投写するには、専用のソフトウェアをインストールする必要があります。

専用ソフトウェアは、次の手順に従ってインストールしてください。

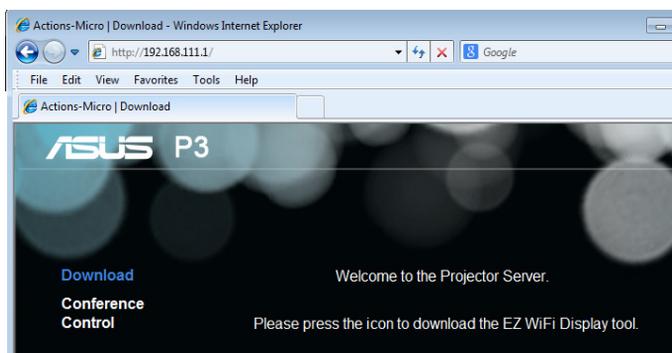
- Android™ OSデバイスをご使用の場合は、Google Playストアから「**ASUS Wi-Fi Projection**」をインストールします。
(対応Android™OS: 4.0以降)
- iOSデバイスをご使用の場合は、App Storeから「**Asus WiFi Projection**」をインストールします。(対応iOS: 5.1 以降)
- ノートパソコンやデスクトップコンピューターをご使用の場合は、次の手順に従ってインストールします。
 1. お使いのコンピューターの電源をオンにし、利用可能なワイヤレスネットワークから、ネットワーク名 (SSID)を「**ASUS-P3B**」選択します。



2. セキュリティキー「11111111」を入力し、本機のネットワークに接続します。



3. 本機のネットワークに接続後、ウェブブラウザを起動しアドレス欄に次のアドレスを入力します。
「192.168.111.1」または「http://192.168.111.1」



参考: SSID (ネットワーク名)、認証方式 (セキュリティ)、セキュリティキーは、変更することができます。詳細は「無線LAN アクセスポイント設定」をご覧ください。

4. お使いのコンピューターの環境に応じて適切なアイコンをクリックし、「EZ WiFi Display tool」をダウンロードしてインストールします。



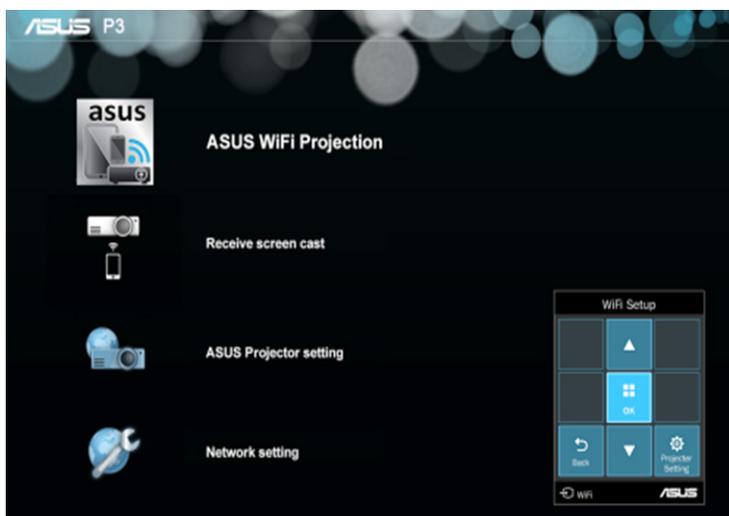
参考:

- EZ WiFi Display tool (EZ WiFi LAN Mirror-only) は、Windows® XP / Vista / 7、及びMac® OS Xをサポートしています。
 - 本書に記載の内容は、製品やサービスの仕様変更などの理由により、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。
-

ASUS WiFi Projectionで表示

このモードでは、本機をアクセスポイントとすることでコンピューターやスマートデバイスとアドホック接続し、画面をスクリーンに投写することができます。

1. 本機にWi-Fi Dongleを接続し、メディアセンターの「**ASUS WiFi Projection**」を起動します。



参考: 通常、Wi-Fi Dongleが接続された状態で電源をオンにするとメディアセンターの「**ASUS WiFi Projection**」画面が自動的に起動します。

3. お使いのコンピューターまたはスマートデバイスのWi-Fi機能を有効にし、利用可能なワイヤレスネットワークから本機のネットワーク名 (SSID) 「**ASUS-P3B**」を選択します。

参考: 本機から投写される情報も併せてご覧ください。

4. セキュリティキー「**11111111**」を入力し、本機のネットワークに接続します。
5. コンピューターまたはスマートデバイスで「**ASUS Wi-Fi Projection**」を起動します。
6. スマートデバイスの場合は本プロジェクターを選択してから、本機から投写されているパスコード (App Login Password) を入力します。



参考:

- SSID (ネットワーク名)、認証方式 (セキュリティ)、セキュリティキーは、変更することができます。詳細は「無線LAN アクセスポイント設定」をご覧ください。
- ファームウェアのバージョンによって、利用できる機能や表示される画面、操作するボタンの名称が異なる場合があります。予めご了承ください。

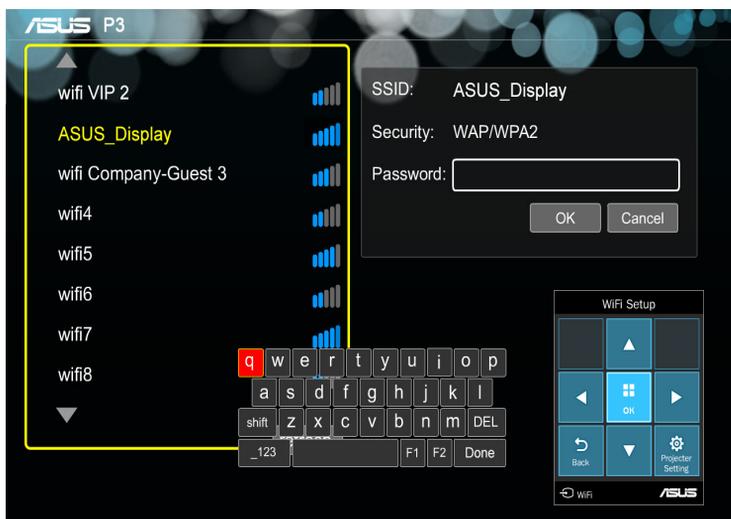
LEDプロジェクターをWi-Fi アクセスポイントとして使用

このモードでは、本機とコンピューターやスマートデバイスを既存の同一ネットワークに接続し、アクセスポイント経由で画面をスクリーンに投写することができます。

1. 本機にWi-Fiドングルを接続し、メディアセンターを起動します。

参考: メディアセンターが自動的に起動しない場合は、 ボタンを押して、**Wi-Fi**を選択します。

2. 「ネットワーク設定」を起動します。
3. 接続を行うネットワーク名 (SSID) を選択します。
4. スクリーンキーボードを操作してセキュリティキーを入力します。



参考: 本機はWPA/WPA2認証方式をサポートしています。

5. セキュリティキーの入力が完了したらスクリーンキーボードの「Enter」を選択し、接続を開始します。
6. お使いのコンピューターまたはスマートデバイスのWi-Fi機能を有効にし、利用可能なワイヤレスネットワークから、本機と同一のネットワークに接続します。

多言語版

他の言語のマニュアルをご覧になりたい場合は、弊社サポートサイトよりダウンロードいただけます。

<http://www.asus.com/support>

付録

Federal Communications Commission Statement

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a class B digital device, pursuant to Part 15 of the Federal Communications Commission (FCC) rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the distance between the equipment and receiver.
- Connect the equipment to an outlet on a different circuit than that which the receiver is connected to.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may not cause harmful interference, and
2. This device must accept any interference that may cause undesired operation.

Regional notice for California

WARNING! This product may contain chemicals known to the State of California to cause cancer, birth defects or other reproductive harm. Wash hands after handling.

Canadian Department of Communications Statement

This digital apparatus does not exceed the Class B limits for radio noise emissions from digital apparatus set out in the Radio Interference Regulations of the Canadian Department of Communications.

This class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Global Environmental Regulation Compliance and Declaration

ASUS follows the green design concept to design and manufacture our products, and makes sure that each stage of the product life cycle of ASUS product is in line with global environmental regulations. In addition, ASUS disclose the relevant information based on regulation requirements.

Please refer to <http://csr.asus.com/english/Compliance.htm> for information disclosure based on regulation requirements ASUS is complied with:

Japan JIS-C-0950 Material Declarations

EU REACH SVHC

Korea RoHS

回収とリサイクルについて

使用済みのコンピューター、ノートパソコン等の電子機器には、環境に悪影響を与える有害物質が含まれており、通常のごみとして廃棄することはできません。リサイクルによって、使用済みの製品に使用されている金属部品、プラスチック部品、各コンポーネントは粉碎され新しい製品に再使用されます。また、その他のコンポーネントや部品、物質も正しく処分・処理されることで、有害物質の拡散の防止となり、環境を保護することに繋がります。

P3B LED プロジェクターの仕様一覧

主な仕様	パネルサイズおよび駆動方式	0.45インチ/DLP®
	光源	R/G/B LED
	光源の寿命	最長30,000 時間
	解像度 (ネイティブ)	WXGA 1280x800
	ライト出力 (輝度)	800 Lm (AC電源) 500 Lm (バッテリー電源)
	コントラスト比 (通常)	100,000:1 DCR
	彩度 (NTSC)	標準100%
	最大表示色	約1,600万色
投写レンズ	スローレシオ	0.8@16:10 (58" @1m)
	投写距離	0.43 ~ 3.44 m
	スクリーンサイズ	25 ~ 200 インチ
	投写オフセット	100 ± 5 %
	ズーム比	固定
	映像機能	画質モード
キーストーン補正		デジタル (最大 ± 40度)
自動キーストーン補正		サポート
アスペクト比		16:10/ 16:9 / 4:3
設置位置		フロント、フロント天吊り、リア、リア天吊り
オーディオ機能	内蔵スピーカー	2W
走査周波数	アナログ信号周波数	15.37 ~ 91.14 KHz (H) 24 ~ 120 Hz (V) (120 Hz :3D機能)
	デジタル信号周波数	15.37 ~ 91.14 KHz (H) 24 ~ 120 Hz (V) (120 Hz : 3D機能)

(次項へ)

消費電力	電源オン	≤65W
	スタンバイ	<0.5W
ノイズ	騒音レベル	32dBA - 34dBA (通常時) 28dBA - 30dBA (シアター/風景/ sRGB)
入力/出力	PC 信号入力	VGA (ミニD-sub) HDMI1.3 (HDCP サポート)
	オーディオ出力	3.5mm ステレオミニプラグ
	カードリーダー	microSDカードスロット×1 (マルチメディア再生)
	USB 2.0 ポート	タイプA×2: USB 2.0 ポート: Wi-Fiドング ル、USBディスプレイ、USBメモ リー、5V/0.5A 給電 電源出力ポート: 5V/1.5A 給電 Micro USB 2.0ポート×1: 内蔵メ モリーアクセス
サポートする メディア形式	ビデオ	MOV/MP4/AVI/MKV/MPG/ MPEG//WMV
	オーディオ	MP3/MP1/MP2/WMA/AAC/ ADPCM-WAV/PCM-WAV
	画像	JPG/JPEG/BMP
	ドキュメント	PDF/DOC/DOCX/XLS/PPT/ PPTX/TXT

(次項へ)

本体設計	色	ホワイト
	三脚取り付け部	あり
	スタンド 搭載ボタン	付属 (角度調節: 5.7° / 9°) 12ボタン (メディアセンター、 入力、電源、イメージ位置、輝 度、画質設定、キーストーン、 メインメニュー/OK、ボリュー ム、Splendid、コントラスト、 セットアップ)
	レンズカバー	付属
セキュリ ティー	セキュリ ティ スロット	付属
サイズ	本体	153.5(W)×131.2 (D)×43(H) mm
	キャリングケース	295(W)×255 (D)×80 (H) mm
質量	本体	0.75 Kg
	製品	1.80 Kg
動作温度		0 ~ 40°C
動作湿度		20 ~ 90%
アクセサリ		専用キャリングケース 電源アダプター、電源コード、 HDMIケーブル、リモコン (電 池付)、Wi-Fiドングル (オプ ション)、クイックスタートガイ ド、製品保証書
準拠規格・条例		FCC/UL/CE/CB/CCC/CU/ VCCI/PSE/RCM

- * 製品は性能・機能向上のために、仕様およびデザインを予告なく変更する場合があります。
- * 仕様およびデザインは地域により異なる場合があります。
- * 本書に記載の製品名及び企業名は、登録商標として登録されています。

サポートするPCのタイミング

VGA入力

解像度	モード	リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (kHz)	クロック (MHz)
640 x 480	VGA_60	59.94	31.469	25.175
	VGA_75	75	37.5	31.5
800 x 600	SVGA_60	60.317	37.879	40
	SVGA_75	75	46.875	49.5
1024 x 768	XGA_60	60.004	48.363	65
	XGA_75	75.029	60.023	78.75
1280 x 768	1280 x 768_60	59.87	47.776	79.5
1280 x 800	WXGA_60	59.81	49.702	83.5
1280 x 1024	SXGA_60	60.02	63.981	108
	SXGA_75	75.025	79.976	135
1280 x 960	1280 x 960_60	60	60	108
1440 x 900	WXGA+_60	59.887	55.935	106.5
1400x1050	SXGA+_60	59.978	65.317	121.75
1024x768@75Hz	MAC19	74.93	60.241	80
1366x768	HD_60	59.79	47.71	85.50
1680x1050	WSXGA+_60	59.95	62.29	148.50

HDMI (PC)

解像度	モード	リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (kHz)	クロック (MHz)
640 x 480	VGA_60	59.94	31.469	25.175
	VGA_75	75	37.5	31.5
800 x 600	SVGA_60	60.317	37.879	40
	SVGA_75	75	46.875	49.5
1024 x 768	XGA_60	60.004	48.363	65
	XGA_75	75.029	60.023	78.75
1280 x 768	1280 x 768_60	59.87	47.776	79.5
1280 x 800	WXGA_60	59.81	49.702	83.5
1280 x 1024	SXGA_60	60.02	63.981	108
	SXGA_75	75.025	79.976	135
1280 x 960	1280 x 960_60	60	60	108
1440 x 900	WXGA+_60	59.887	55.935	106.5
1400x1050	SXGA+_60	59.978	65.317	121.75
1024x768@75Hz	MAC19	74.93	60.241	80
1366x768	HD_60	59.79	47.71	85.50
1680x1050	WSXGA+_60	59.95	62.29	148.50

HDMI (ビデオ)、YPbPr (VGAポート経由)

タイミング	解像度	垂直周波数 (Hz)	水平周波数 (kHz)	ドットクロック周波数 (MHz)
480i	720(1440) x 480	59.94	15.73	27
480p	720 x 480	59.94	31.47	27
576i	720(1440) x 576	50	15.63	27
576p	720 x 576	50	31.25	27
720/50p	1280 x 720	50	37.5	74.25
720/60p	1280 x 720	60	45	74.25
1080/50i	1920 x 1080	50	28.13	74.25
1080/60i	1920 x 1080	60	33.75	74.25
1080/50P	1920 x 1080	50	56.25	148.5
1080/60P	1920 x 1080	60	67.5	148.5
1080/24P	1920 x 1080	24		

参考: 本書に記載の内容は、製品やサービスの仕様変更などの理由により、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。